

# 「2度目」待たず天国へ

東京五輪で平均台の演技を披露する小野さん。体操女子団体総合で銅メダルに輝いた(1964年10月21日、東京体育館)



1959年 夫・喬さんと



2011年 澤さんと



2014年 森喜朗氏と



2014年 「50周年の火」点火



2015年 川淵氏と



# 小野清子さん 64年東京五輪体操女子団体銅

政界にも進出し、国家公安委員長などを務めた



## ママさん選手の先駆け、参院議員で女性初の国家公安委員長も

**85歳** 1964年東京五輪の体操女子団体総合銅メダリストで、参院議員として国家公安委員長などを務めた小野清子(おの・きよこ)さんが13日、死去した。85歳。葬儀は近親者で行った。喪主は体操男子で五輪金メダル5個の夫、喬(たかし)さん(89)。骨折して入院中に新型コロナウイルスに感染し、治療を受けたが容体が急変した。自民党が18日、発表した。

小野さんは、女子で唯一のメダルをママさん選手として出場した1964年東京五輪の団体総合で獲得した。引退後は政界で要職に就き、女子アスリートの活躍の場を広げ、社会進出を先導した人生だった。

の喬さんと結婚。夫婦そろって出場した60年ローマ五輪で団体総合4位に入った。61年に長女、63年に長男を出産。2児の母になり、64年東京五輪は考えられなかったという。しかし、日本体操協会から要請があり、喬さんにも二日本で五輪開催。チャンスがあるなら挑戦したいと背中を押され、決心。練習では跳び箱の最上段を逆さにして床に

### 骨折入院中コロナ感染 治療受けるも容体急変

置き、幼子を入れてゆりかごの代わりにした。現役引退後の65年に喬さんとともに民間スポーツクラブの草分けとなる「池上スポーツ普及クラブ」を設立し、地域スポーツの振興に携わった。社交的な性格で知名度があり、5人の子供に手がからなくなったタイムリングで86年参院選で初当選し、計3期務めた。日本オリンピック委員会(JOC)では女性初の副会長となり、2003年に自民党の小泉純一郎内閣で女性初の国家公安委員長を務め、サッカーの「トット」の導入などに尽力した。政界を退いてからは日本スポーツ振興センター(JSC)理事長や日本ドラゴンボート協会会長などを歴任。08年に旭日大綬章を受章し、16年に国際オリンピック委員会(IOC)から五輪運動の発展に寄与したことをたたえる五輪オーター(功労章)が授与された。

議員を3期18年務め、2003年に小泉純一郎政権で初入閣し、国家公安委員長を務めた。58年に結婚した夫の喬さんは五輪で金5銀4銅4のメダルを獲得。池田さんも回想

池田さんも回想  
○小野さんとともに日本のママさん選手の先駆けとなった池田敬子さん(87)は、最近会う機会がなかったそう。「思い出話でもしにきてくれたらよかったのに」と梅やんだ。当時は競技と育児の両立に対する理解が少なく、「2人は3倍くらい努力した」と回想。子連れの合宿参加を批判され、2人で引き揚げたこともあり「そういうことが印象に残っている」と振り返った。